



アレルギー支援ネットワーク 通信



NO.13 2008

-
このメールマガジンは、アレルギー支援ネットワーク会員のみなさまへお送りしています。

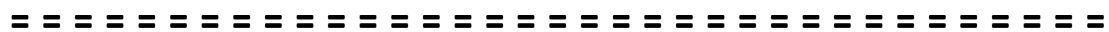
※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

-
アレルギー支援ネットワーク通信12号をお届けします。早いもので、今年も残り1ヶ月になりました。師走で慌ただしい月になりますね。12月も大掃除や冬休みで忙しいですが、頑張りましょう！では、今月もメルマガをお届けします。

==== も く じ =====

1. 「アレルゲン表示」その8 『食品の原材料表示とアレルギー症状への疑問』
2. 理事のつぶやき 『伊藤浩明』
3. アレルギー大学講師の声『高岡有理先生』
4. アレルギーの会の活動紹介 『桑名アレルギーっ子集まれ!』
5. 会員からみなさまへ
6. 事務局の窓辺から
7. ニュース・エトセトラ
 - ① ~災害時にアレルギーの子どもたちは? 東海・東南海地震にどう備えるか~
「アレルギー児の防災について阪神大震災の教訓に学ぶ」
あれるぎっこおひさまの会四日市主催
 - ② 「保険でより良い歯科医療を」の会議に出席してきました
8. ホームページのお知らせから
 - ① 「ぜん息」症状のある方へ モニター調査にご協力ください
 - ② 「防災・救援ネットワークシステム」への登録のお願い
9. ボランティア・スタッフ募集
10. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します
11. メールマガジン無料会員募集します

※ 誠に勝手ながら、『歯科材料アレルギー治療の健康保険への適用を』『賛助会員からのメッセージ』はお休みさせていただきます。ご了承ください。



1. 「アレルゲン表示」その8 『食品の原材料表示とアレルギー症状への疑問』

私は、卵と乳に食物アレルギーをもつ4歳の女の子の母親です。
娘は、今年10月に、原材料表示の中に卵と乳が含まれていない食品を食べ、

アレルギー症状(ジンマシン)を起こしてしまいました。製造先にも原材料の確認をするための電話を入れましたが、原因と思われる原材料はみあたりませんでした。そして、市の保健所に食品の中に本当に卵と乳の成分が含まれていないかの検査をお願いできないかと、助けを求める思いで電話しました。保健所の方からは「本当に保健所がやることなのか?」と言われ、不安になった私は所属する団体の代表の方に相談をしたところ、アレルギー支援ネットワークの栗木さんに相談したら?ということになりました。相談した内容で再び保健所をお願いしたところようやく検査を依頼することができ、その日の内に食品をとりにきてもらうことが出来ました。

しかし、実際には、市の保健所が直接検査機関検査を依頼するのではなく、全て販売元が行ったものでした。しかも、その検査依頼までのルートは、とても複雑で販売元から製造元へ調査及び検査を依頼し、製造元から第三者機関へ検査を依頼するというものでした。

今回2種類の食品の検査をお願いしましたが、保健所を通して報告結果がでるまでにとっても時間がかかりました。また検査依頼をした2種類の食品うち1つは、実際に渡した食品で検査をしたものではなく、同一ロット製造品を使用したものでもありませんでした。これで本当に正確なのか?という疑問が強く残ってしまうものでした。

そして、その結果は陰性(アレルギー物質不検出)と出ました。

「ではジンマシンは、どうして出てしまったのだろうか。」

季節の変わり目に、突発的なジンマシンはあり得るかもしれませんが。しかし食後30分以内で、腕・首・顔に強いジンマシンが出るというのは、何か原因があるのではないだろうか?と、ジンマシンの本当の原因を探るために、娘に原因と思われる2種類の食品の負荷試験をさせてみようということになりました。

負荷試験は、手元に残っている食品が少ないため、実際に食べた量より少ない試験になってしまいます。そして、なんとなく娘を実験に使うようで、最初は嫌な気持ちになりました。しかし、私たちが食品を選ぶ上でとても大事な答えをみつけなければならないのでは…と今は思っています。

今回保健所の方からは、アレルギー症状と思われる事故は、私の娘が初めてだと言われました。今までに何かしらのアレルギー症状になっても、原因がはっきりせず、疑問を持ち続けている人はたくさんいると私は思います。その時に頼れるのは、やはり行政でなくてはいけない!と今回の事故で強く思いました。

まだ娘のジンマシンの結論はでていません。全てが終わり結論がでるまでにはもう少し時間がかかりそうです。また全ての結果が出ましたら、報告させていただきたいと思います。

静岡県 T. O.

2. 理事のつぶやき 『伊藤浩明』

あいち小児保健医療総合センターアレルギー科の伊藤です。毎日、たくさんのアレルギー患者さんに接して仕事をしています。

ここ数年間で、アレルギーの診療内容は、大きく進歩しました。科学的な根拠をもって治療成績が検証された標準的な医療が、ガイドラインという形でまとめられ、ある程度均質な医療が提供されるようになってきた事が、大きな要因です。さらに、こうした標準的な医療を、全国の患者団体が支持し、社会的な普及に力を尽くしていることは、とても重要なことだと思っています。

NPOアレルギー支援ネットワークも、多くの専門医の先生方に理解され、協力しあえるような団体に成長してきました。12月8-9日には、私たちのリーダーである藤田保健衛生大学の宇理須厚雄教授を会頭として、日本小児アレルギー学会が開かれます。さらに翌週15-16日には、皮膚科の松永佳世子教授が会頭で、日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会が開かれます。どちらの学会にも、NPOの活動を紹介する場を提供していただける事になり、とても嬉しく思っています。アレルギーの診療は、診察室の中だけで完結できるものではありません。医学の枠を越えて、生物・食品・環境など多くの学問と結びつき、それを生活に還元することで、ようやくこの現代病と対峙することができるのです。アレルギーを志す若い医師たちにも、こうした醍醐味が経験できる場を、NPOとしても提供していきたいと思っています。

3. アレルギー大学講師の声『高岡有理先生』

2007年度 アレルギー大学 基礎講座「アレルギーって何？その症状と原因は？」(静岡)を担当した高岡有理先生から、メッセージと講座アンケートの質問のお答えをいただきました。

食物アレルギーの増加と共に、園や学校さらにレストランやホテルなどでもアレルギー対応のニーズが高まっていますが、そのようなことを反映してか、今回の出席者の方々は皆熱心で感心いたしました。アレルギー大学のような地道な努力の積み重ねが、食物アレルギー児のQOLを高めることに繋がっており、できる限り応援したいと思っています。

Q1⇒食物アレルギーの疑いのある子は1歳くらいまでは離乳食にその食材を使わないように指導しているがそれはどうか？

A1⇒大体の原則は以下のように考えています。疑いがある場合はまず採血やプリックテストなど(低年齢であればプリックテストの方が有用かもしれません)を行い、できるだけ除去の根拠があったほうが良いと思います。それでないと無駄な除去が増えてしまうと思われます。そのうえで疑いがあれば1歳ころまで除去して、負荷試験で解除していくのが良いと思います。

Q2⇒1歳未満のIgE採血は有効か？ミルク・米・小麦など必要なものもあるがエビ・カニなど家族にアレルギーがあるため検査を希望される方がいるが、乳児はすぐに食べるわけでないし、母乳から移行するとしても、どう考えるか？

A2⇒1歳未満でも有用だと思われます。ただし6ヶ月未満と6ヶ月以降、1歳以上では正常値が異なり、6ヶ月未満では低く出る傾向はあります。6ヶ月未満では、乳児の強いアトピー性皮膚炎ではかなり高値になっていることも多く採血の適応ですが、明らかな湿疹も食物の誘発症状もない人で採血を希望された場合はプリックテストで代用することもあります。(こちらの方が感度が良い)たしかに、アレルギー体質は遺伝するが、食物アレルギーの種類までは遺伝しないので、家族にエビカニアレルギーがあるからという理由で、医学的に必要ということはない

いと思います。希望されて検体にゆとりがあれば調べても良いと思いますが、確かに優先順位としては卵、牛乳、小麦など頻度の多いもののほうが上ですね。母乳への移行分は母が毎日くらい頻繁に摂取している家庭でなければ考えなくてよいと思われまます。

4. アレルギーの会の活動紹介 『桑名アレルギーっ子集まれ！』

こんにちは。「桑名アレルギーっ子集まれ！」です。
当会は 2004 年から活動を始め、三重県桑名市周辺に住む食物アレルギー・アトピー・喘息等を持つ子供（0 歳～12 歳）とその親が参加しています。現在会員数は 10 名。毎月第 3 金曜日に交流会を行なっています。会報は季刊誌を発行。交流会の部屋にはおもちゃがありますのでお子さんを連れて遊ばせながら気軽に情報交換や勉強会をしています。会費は半期で 1200 円を頂いています。昨年までは会の中だけの活動でしたが、今年からは東海アレルギー連絡会に登録し横の繋がりができ情報量や活動の幅が広がりました。8 月には会費でお菓子の試食会を開催しました。今後は講師を招いての講演会やクッキングを予定しています。当会が日々の忙しさを忘れホッとできる場になってくれればと思っています。お気軽にご参加ください。

連絡先：TEL&FAX 0594-21-2288（岩田）

5. 会員からみなさまへ

初めまして。五歳の長男、二歳の長女を持つ母親です。
先日、下の長女を連れて沖縄に行って来ました。沖縄本島の北西に位置する伊江島というところですよ。優雅なバカンスではなく、自然や生き物が大好きな上の長男に素晴らしい海を見せてあげるための下調べ&準備のためです。アレルギーっ子をお持ちの方は外食、旅行に大変苦労されていると思います。我が家の長男も例にもれず、調理のできるコテージや知人の家に泊まり遠出をしています。冬場は治部坂高原のコテージに食材、調味料、薬、ダニ予防シート等を持参し、他の持病もあるため医師の紹介状を現地診療所医師に伝え、いざという時には対応可能な状態にしてスキーやソリ遊びを楽しんでいます。そして夏。外国はなかなかハードルが高いのでまずは沖縄！と知人を当たったところ伊江島にコテージを見つけました。現地の状況、特に医療機関の対応がはっきりしなくては安心して沖縄旅行に踏み切れないので現地調査にいったわけですよ（大げさですが）。やはりスーパー、コンビニ、小児科までの距離が長く愛知県内の便利さとは違いましたが、それらを踏まえた行程を組めば旅行可能だなと実感しました。来年、親戚や知人を誘ってみんなで一緒にエメラルドグリーンの海を体感したいと今からワクワクしています。

私は仕事で乳幼児の身体について分析してきましたが、子育てをされていて子どもの心の成長に驚かされます。色んなことに興味を持ち好きなことに没頭している姿、アレルギー疾患を現実のこととして受け入れ、子どもなりの理解で周囲の人に受け止めてもらおうとする姿。子どもらしい姿と意外にも大人らしい一面ですが、それをきちんと見守って下さる方々に囲まれて長男は幸せだなと毎日感じています。私の主治医はきちんと話を聞き、その上で私たち母親をいつも褒めて下さいます。アレルギーに関わっている方の話の中にアレルギーは母親のしつけ

のせいだ、などと暴言を吐く医師もいたと聞き、あきれてしまいました。やはり大事なものは信頼できる医師に出会い、無理の無い範囲でアレルギーに向かい合い、あとは子どもの成長をみんなで温かく見守る環境作りであると私は考えます。海や山を楽しみ、時にはディズニーランドに行き、友達をたくさん持って刺激を受け、子どもの足並みに合わせて家族一同成長していきたいと思います。

6. 事務局の窓辺から

みなさん、こんにちは。事務局のお手伝いをしている丹羽です。
うちの2人の息子達は卵にアレルギーがあり、長男は保育園へ入園する頃から徐々に卵を食べられるようになりましたが、小学1年生になる次男は今も卵の完全除去をしています。家では家族そろって除去食を食べていますが、それ以外での食事には絶えず目を光らせていましたので、次男が保育園に入園する時はどうしていいのかわからず不安でいっぱいでした。そんな時、アレルギー支援ネットワークの理事でもあるお友達に、園へのお願いの仕方や、緊急時の文書の書き方などを教わり、無事に保育園生活を終えることができました。最近ようやく次男のアレルギーに対して前向きに受け止めていけるようになりました。これも私たち家族を支えてくれている周りの方々のお陰だと思っています。感謝の気持ちを忘れないよう、今度は私が皆さんの力になれば…と思います(*^^)v

7. ニュース・エトセトラ

- ① ～災害時にアレルギーの子どもたちは？ 東海・東南海地震にどう備えるか～
「アレルギー児の防災について阪神大震災の教訓に学ぶ」
あれるぎっこおひさまの会四日市主催

皆さん、こんにちは。「あれるぎっこおひさまの会四日市」の浅川です。
このたび、三重県ボランティア基金の補助金を受け、来年1月27日（日）に四日市において、アレルギー児と防災についての講演会を行うことになりました。講師の方は、神戸医療生協いたやどクリニック院長の木村彰宏先生と、アレルギー支援ネットワーク理事の栗木さん、そして、四日市市役所防災対策課の石田主幹です。

詳細はポスター

<http://www.alle-net.com/blog/event/yokaiti-bousai%20posuta.pdf> をご参照下さい。

また、参加ご希望の方は、参加申込書

<http://www.alle-net.com/blog/event/yokaiti-bousai%20mousikomi.pdf> に必要事項をご記入の上、浅川まで fax でお申し込みください。

(申し込み締め切り:12月27日)

たくさんの方のご参加お待ちしております。よろしく願い申し上げます。

《問い合わせ・申し込み先》

あれるぎっこおひさまの会四日市(浅川)

TEL&FAX:059-345-2390

② 「保険でより良い歯科医療を」の会議に出席してきました

10月25日(木)の夜、「医労連」(医療関係の組合の連合会)の会議室で、見出しの「愛知連絡会」の「世話人会」というところに出席してきました。歯科材料にアレルギーの保険適用の要請項目に採りあげてほしいとお願いしてきました。第2回目の「世話人」会ということですが、連絡会は6月10日に発足したとのこと。皆さんのところにニュースは伝わっていますか?いくつかかいつまんで、エッ!!とビックリしたことを報告します。

歯の中に入る虫歯治療などではいる金属などは合成ものが多いのは当然として、歯医者さんも何が入っているか情報が公開されていないそうです!!歯科材料は非公開とのこと(企業秘密とか!)!!歯医者さんから金属アレルギーの「○×は、はいていない?」としか聞けないとのことでした。これって変!?ですね。

「加工食品」だって法の義務化があるのに!!です。いつも口の中に入っている材料が何か?ぐらいは知る権利があると思いませんか!?しかも治療する医者も知らされていないというから、もうビックリです!!アレルギー用の治療に使う歯科材料保険適用ならず、ウン10万円もの高い治療費を払わされた挙句に、これではね!皆さん、やっぱり、患者が知らないですんでいく世の中はエイズや肝炎だけではなさそうです。

2つ目、この歯科材料を使って歯につめ、入れ歯や差し歯を作るのは歯科技工士さんというのは皆さんご存知ですよ。この技工士を育てる学校が潰れているそうです。なぜ?若い子が応募しないそうです(年収2~300万円程度が多いとか)。で・・・学校が潰れているとのこと。愛知県に4つある学校の内すでに1つ潰れたそうです。全部なくなるのはどうやら時間の問題!?国はこの現状に「歯」を外国から輸入すればいいとか?これまた!エッ~!!です。何の規制もなく入ってくる義歯が・・・横行する。みなさん、もう、虫歯は作れませんよ!!できますか?まだまだエッ~!!がありました。まずは、第一報告です。皆さん、おこれたり、疑問がある方は勉強会にご参加を(笑)。メルマガにそのご案内が載ります。11月10日(土)、3時過ぎから名古屋・栄の教育館です。では皆様の投稿をお待ちしています!

8. ホームページのお知らせから

① 「ぜん息」症状のある方へ モニター調査にご協力ください

http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post_17.html

② 「防災・救援ネットワークシステム」への登録のお願い

http://www.alle-net.com/blog/event/2007/11/post_18.html

9. ボランティア・スタッフ募集

ボランティア・スタッフを募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、ボランティア・スタッフを募集しています》

- ・パソコン(ワード、エクセル、アクセス、お絵かきなど)が得意な方
- ・イラストなどを描くのが得意な方
- ・何でもやってみたいなという方
- ・イベント、フェアなどを手伝ってくださる方

まずは、ご連絡ください。お待ちしております。

詳しいことは、事務局までお問い合わせください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局（担当：中西）

FAX：0564-55-5702 e-mail：info@alle-net.com

10. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します

《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局（担当：中西）

FAX：0564-55-5702 e-mail：nakanishi@alle-net.com

11. メールマガジン無料会員募集します

メールマガジン無料会員とは・・・

メールアドレス（PC、携帯）を登録した方です。

メールマガジン無料会員に「アレルギー支援ネットワーク通信」（仮称）を毎月1回無料配信します。新鮮な情報を盛りだくさんお届けします。PCにも携帯（一部、表示できない機種があります）にも配信できます。

また、メールマガジンはその時々々のニュースだけでなく、HPに掲載されない、読者の皆様だけへの特別割引などのご案内や、地震・水害などの被災時には、安否確認や支援などの媒体として利用をさせていただきます。

お友達やお知り合いの方にも、是非ご紹介ください。どなたでも無料会員になることができます。

PC、携帯のアドレスをお持ちでなくても、郵送でお届けすることができますので、事務局 TEL/FAX：0564-55-5702 までお問い合わせください。

メールマガジン無料会員登録は HP (<http://www.alle-net.com/>) からどうぞ。『メールマガジン無料会員』をクリック → 『無料会員とは・・・』をお読みいただき、同意をされる場合は、『申し込み』をクリック → 事務局へのメールのフォーマットに記入・送信 → 登録完了！

尚、配信停止もいつでもできます。

▲今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いて

アレルギー支援ネットワーク e-mail : asn-mailmagazin@alle-net.com

(担当：園木) までメールをお送りください。

★メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。

★メールアドレス変更などは、
アレルギー支援ネットワーク e-mail : asn-mailmagazin@alle-net.com (担当：園木) までお知らせください。

★このメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

★メールマガジンに関するお問い合わせは、asn-mailmagazin@alle-net.com までお願いします。

★メルマガの転載について
無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、事務局担当(園木)sonoki@alle-net.com までお尋ねください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702 ▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◆☆